

研究計画概要

助成年度・種別	2020年度 一般研究助成
研究代表者	小畑 千晴
所 属	岡山県立大学
研究テーマ	ストーカー行為未然防止のための調査研究
研究計画概要	<p>ストーカー事案の社会的対応の強化が求められており、とりわけ加害者が抱える問題に注目した取り組みが強く推進されている。本研究では、ストーカー事案に関してあまり取り扱われてこなかった臨床心理学的視座よりこの行為について検討する。</p> <p>本研究には 2 つの課題がある。第一課題は、ストーカー行為はその多くが元配偶者、元交際相手など関係性がある二人の間で起こる事案であることから、ストーカー行為発生機序を加害者の面接および心理検査を通じて、パーソナリティ特性と被害者との力動にも焦点を当てて検討する。その際、ハフシメッド(2010)による人と人との繋がりに関する理論「原子価論」の立場から検討する。</p> <p>第二課題は、大学生を対象に親密な関係性に対する捉え方を把握するための質問紙調査を行い、若者におけるパートナーとのかかわり方について意識を把握することである。だれもが可能性をはらんでいるストーカー加害者にならないための予防教育活動に役立て、未然防止へつなげることを目指す。本研究は、徳島県警察本部との共同研究による一環である。</p>
選考委員からのコメント	<p>ストーカー問題は、永年にわたる取組にもかかわらず、むしろ深刻化している。研究もかなり存在するが、なお、地域の特徴をも踏まえた具体的研究は重要である。本研究は方法も着実なものであり、加害者側へのアプローチはこれまで提唱されてきたにもかかわらず十分でない面があり、成果が期待される。</p>